

CONTENTS

本書のはじめに	2
編著者・著者紹介	7

CHAPTER 1

再生療法の前に歯周基本治療	8
歯周治療の流れと、歯周基本治療	8
SRPに必要な器具	9
SRP時に気をつけるべきこと	15

CHAPTER 2 リグロスを用いたフラップ

手術までの基本的な術式(フロー)	19
リグロス®を用いたフラップ手術を含む歯周治療の流れ	19
リグロス®使用までの検査と治療効果の評価法	21
リグロス®を用いたフラップ手術の術式	25

CHAPTER 3 リグロス®と、

失敗しないための症例選び	29
リグロス®歯科用液キット	29
失敗しないための症例選び	33
患者選択の注意点	35

治療対象歯の選択の注意点(この歯にはリグロス®を 使用しない！)	39
CTが利用できない場合の骨欠損形態の概形の推測	40
リグロス®を適応していいのか？ タイミングは？	43
予後に影響を与える歯の解剖学的特徴	46
リグロス®に特異的な副作用(硬結・肥厚)に ついての配慮	47

CHAPTER 4

最小限の手術器具をそろえる	50
歯周組織再生療法に必要な最小限の器具	50
〈付録〉リグロス®の購入方法	56

CHAPTER 5

術野の消毒，よく効く麻酔	57
前投薬	57
術野の消毒	59
麻酔	60

CHAPTER 6

フラップデザインと切開の基本	63
フラップデザインのイメージ	63
切開線の設定方法	64

歯間部の切開で押さえておくべきポイント	69
辺縁部歯肉の切開	70
縦切開	71
最後臼歯遠心部の切開	73
減張切開	74
さらに低侵襲なフラップデザイン	75
そのまま使えるフラップデザインと切開線	76
切開・剥離のキーポイント	78
【参考】歯周外科手術のコンセプトの変遷	79

CHAPTER 7

剥離・搔爬・歯周組織再生剤・ 材料の注入

82

歯肉の剥離	82
搔爬	84
歯周組織再生剤・材料の注入	87
保険の算定	88

CHAPTER 8 縫合，歯周包帯

91

縫合	91
歯周包帯(歯周パック)	97

CHAPTER 9 術後のケア・抜糸	99
術後の抜糸と消毒	99
術後の炎症への対応	100
術後の患者指導	100
術後評価	103
暫間固定と咬合調整	104
索引	106